日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2011. 07 06

No.11-028

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob1@gmail.com

安全で明るい JAL

7・8・9 月 極めて重要な局面になってくる

第 4 回 JAL 不当解雇撤回裁判（乗員）6 月 27 日 報告　その２

裁判のあとで報告集会が行われました

東京都労働委員会の命令まもなく出るか！

（“争議権を確率したら3500億円出資しない“という昨年の企業再生支援機構による脅しに対する不当労働行為救済命令申し立て）

９月中に４回の裁判の予定（乗員・客乗それぞれ２回の証人調べ　仮置）

稲盛会長は証人尋問に応じ、真実を語るべき！

４回のうち、３回は海外出張中だが、30 日（客乗裁判予定）は国内にいるそうです

ILO 訪問の報告

- ILO が「強い関心」を示しました。
  その背景に IFALPA（国際定期航空操縦士協会連合会）が ILO に書簡を送る、そして ITF（国際運輸労連）の決議・・・
  と本解雇事件への強い関心と理解が、海外にまで急速に拡がっています。
- ILO 高官が「会社更生下でも解雇は避けるべきもの」など発言
- 検討する基準が裁判のものと同じです。
  1. 経営者は事前に誠意を持って交渉したか、代替措置を取ったか
  2. 日本の国内法に基づく解雇の定めを遵守したか
  3. ILO の国際基準法に違反していないか

- ILO（ITF, IFALPA）訪問は航空からの 11 名、他団体からの 18 名を加えて総勢 29 名が参加しました

ITF（国際運輸労連）合同アライアンスミーティング（マドリッドにて）訪問の報告

決議文採択、「ITF 役員の理解」から「世界中の理解」へと変わりました。

JAL 不当解雇撤回ニュース No.037

国交省、厚労省要請の報告

「日本政府として、国際社会に恥じない対応ももとめられています・・・」

厚労省担当官は「ILO の誰に会ったか」と聞いてくるなど、無視できない雰囲気に変わったようです。

最後に山口原告団長あいさつ

この闘いはただならぬ闘いになってきています。
「４要件を無視して解雇されてはたまらない」との理解と支援が日本中に拡がっています。
（国民支援共闘会議に続き、大阪、福岡そして今回、稲盛会長のお膝元 京都にも支援共闘会議が出来ました）
世界は、最近の日本の様々な問題を注視していますが、この解雇問題でも日本は何をやっているのだという声が出ています。

準備書面 会社 4・原告 5

【ITF TOKYO のホームページより】

ITF は、交通運輸労組の世界的組織である国際運輸労連（International Transport Workers' Federation）の略称です。世界 147 カ国の 644 組合の連盟である ITF は、組合員 440 万人以上を代表しています。　ITF は、スト破りに対抗するための国際組織の必要性を認識した欧州の船員組合と港湾労働者組合の指導者によって、1896 年にロンドンで結成されました。現在 ITF は、海運・港湾・鉄道・路面・貨物旅客輸送・内陸水運・水産・ 観光・民間航空で働く労働者を組織しています。　ITF は、世界レベルで交通運輸労働者を代表し、グローバル・キャンペーンと連帯を通じて交通運輸労働者の利益を促進します。また、独立した民主的な労働組合運動の発展と基本的な人権･労働組合権の擁護にも寄与しています。あらゆる形の全体主義、暴力、差別にも反対しています。
ITF は、国際労働組合総連合（ITUC）と共に活動する 10 の国際産別組織（GUF）のひとつです。